

日本共産党 姫路市会議員団

市会報告 2020年 第4回定例会

議員団控室 姫路市安田4-1 TEL 221-2046 FAX 284-5890
メール info@jcp-himeji.com



谷川まゆみ 検索 ブログ



森ゆき子 検索 ブログ



苦瓜かずしげ 検索 ブログ



村原もりやす 検索

11月議会の質問から



森ゆき子議員

姫路市新総合計画は コロナ後の新しい社会を 見据えた計画に

姫路市は、2021年からの新総合計画の基本構想素案を示し、パブリック・コメントと住民説明会を行いました。この素案について市民から「市の公的な役割が解りにくい」との声が多数寄せられました。これらの意見を受けても基本構想案において、市民・民間団体の役割や自助・共助を強調しています。新型コロナ感染拡大のなか、公衆衛生や医療を始めとする「公共」の役割が益々求められています。そのため①パブリック・コメントと住民説明会で市民への周知は充分か②新総合計画は市の公的責任を示し、コロナ後の新しい社会を見据えた計画となっているのか質問しました。答弁は①SNSの活用や広報ひめじ等で周知は図れた②「市が主体的に行うということは全てにかかる」とのことでした。新総合計画は、これまでの自己責任を押し付ける新自由主義から、一人ひとりを大切にしたい新しい社会へ転換を図るものにすべきと指摘し、基本構想案に反対しました。

生存権を保障した憲法25条に照らした 生活保護行政を

9月11日、厚生労働省は「生活保護の申請は予断を許さない状況であり、保護の申請権の確保には特に留意すること」という内容の事務連絡を各自治体に届けました。コロナ感染拡大による経済的な影響は深刻です。しかし、姫路市の生活保護受給世帯は、4月以降横ばい状態です。また人命に関わる猛暑の中、冷房費の加算はありません。生活保護基準額も3年間連続で引き下げられています。そこで、①厚生労働省の事務連絡通りの対応か②生活保護基準の引き上げと、冷房費に対する夏季加算の創設を国に求めることについて質問しました。答弁は①職員への連絡事項の周知徹底を図る。②夏季加算については全国市長会の国への提言に盛り込まれているとのことでした。

生活保護行政は、引き続き暮らしのセーフティネットの役割を果たすよう求めました。



村原もりやす議員

新型コロナウイルス感染症 拡大防止のための 「検査・保護・追跡」の 抜本的強化を

村原議員：PCR検査・抗原検査が1日に1100件できるようになり、医療・介護・保育等に携わる全ての人たちに社会的検査を行うべきではないか。また全額国庫負担での検査体制をつくり、特に医療や高齢者施設での社会的検査が必要と考えます。答弁：感染が認められた場合には、当該施設の該当区域内の入所者及び従事者の全員を対象としてPCR検査等を行政検査している。費用負担もあらゆる機会 で国に要望する。

村原議員：感染追跡を専門に行うトレーサーを確保するため、保健所新年度採用予定の保健師数名、薬剤師若干名をもっと拡充する必要がありますと考えます。

答弁：12月1日からは保健所にプロジェクトチームを設置して、コールセンターの運営及び入院調整、医療に関する手続きを担当している。また本庁に勤務する保健師も交替で保健所業務に従事している。採用については、多様な任用形態を活用した採用ができないか検討する。

村原議員：引き続き保健師をもっと増やし、保健所の体制強化を求めていきます。

気候変動を抑制する経済・社会への転換を

村原議員：姫路市地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス削減の進捗状況を明らかにしてください。

答弁：直近の2016年度は本市域の温室効果ガスの総排出量は1,116万6,000トン、2013年度比で27万9,000トン、2.6%増加している。

村原議員：日本政府・兵庫県の温室効果ガスゼロ宣言を受けて姫路市の実行計画をどう見直すのか、また姫路市として「ゼロカーボンシティ」の表明をするべきではありませんか。

答弁：実行計画の見直しは、国・県に遅滞なく行いたい。2050年までに温室効果ガスをゼロにすることを目指し「ゼロカーボンシティ」の表明に向けて進めていく。

議員の不当要求行為で

百条委員会設置へ



新聞、テレビで既報のとおり、松岡広幸姫路市議会議員による市職員への大声や威圧的言動を繰り返した一連の行為が、職員倫理条例に規定される「暴行、脅迫又は大声若しくは威圧的言動等の社会的相当性を逸脱した言動を伴う」不当要求行為に当たると姫路市職員倫理審査会が判断しました。

これを受け、姫路市議会として、その真相解明と再発防止のため、地方自治法第100条に基づく調査特別委員会（百条委員会）を設置し、議会の調査権を発動して徹底した調査を行うことが本会議最終日に議決されました。この特別委員会は市議会の非交渉会派も含めた全会派からの委員で構成し、日本共産党議員団からは谷川まゆみ議員が入ります。

議会閉会中も偽証を行えば罰せられる証人喚問も予定される審査を行い、2021年第1回定例会に報告されることが決まりました。

2021年度 予算編成に市民の声を活かす



2020年10月23、27、29日の3日間にわたり市長公室、健康福祉局、教育委員会等新年度の予算編成について、要望懇談会を行いました。



当局に要望する議員団

新型コロナの感染拡大が収まらない中、第一に市民の命と健康、暮らしを守るための施策が求められています。PCR検査の抜本的拡充、保健所の体制強化、中小業者の営業を支える予算となるよう求めました。また、感染症対策としても有効で、一人ひとりを大切にできる少人数学級の実現や子ども医療費の所得制限撤廃についても強く求めました。

新年度は、コロナ禍で税収の落ち込みが予想されますが、暮らし応援の予算となるようがんばります。

市内施設を視察



2020年11月5、6日、議員団として市内視察を行い、書写養護学校、ルネス花北、花北図書館分館、市川美化センター、山陽中学校の5カ所を訪問しました。いずれの施設も、職員のみなさんがコロナ感染対策に神経を使われていることがよくわかりました。改めて、こうした職員に支えられて、私たち市民の日常があることを実感しました。

また、新年度から制服が男女とも、ブレザーとスラックスが標準となる山陽中学校についても、教職員の高い意識と努力によって、ジェンダー平等に取



大規模改修を終えた市川美化センターを視察する議員団

り組まれていることを学ぶことができました。私たち議員団としても、応援していきたいと思いました。

中学3年生までの インフルエンザワクチン接種費用の助成を



今議会では、市内女性団体から「インフルエンザ予防接種費用の中学3年生までの全額または一部補助を求める請願」が提出されました。対象年



齢や金額に差異はあるものの、西播11市町のうち9市町で接種費用の助成が広がり、未実施は神河町と姫路市のみです。予防接種には1回4,000円程度が必要で、多子世帯で13歳までの2回接種では、1万円以上の負担が生じます。経済的負担の軽減で子育て支援を願う声が広がっています。厚生委員会において請願審査が行われました。私たち共産党議員団は採択を求めましたが、他会派は審査の継続を主張し、請願は「継続審査」となりました。

力を合わせ頑張ります

団長 谷川まゆみ
●経済観光委員会

幹事長 森ゆき子
●総務委員会

団員 苦瓜かずしげ
●文教・子育て委員会
●議会運営委員会

団員 村原もりやす
●厚生委員会
●姫路福崎斎苑施設事務組合議会議員